

# 最上小国川清流未来ニュース

令和4年9月30日 発行  
最上小国川清流未来振興機構

第27号

## 最上小国川鮎釣り甲子園大会3年ぶりに開催！



7月30日（土）、最上小国川の最上町おらだの川公園付近を会場に、第3回最上小国川鮎釣り甲子園大会を令和元年以来3年ぶりに開催しました。競技は時間内に鮎を友釣りで何匹釣り上げられるかを競い合い、総勢25名が3時間の熱戦を繰り広げました。参加者のうち鮎釣り初心者は2人1組で、地元の釣り名人からサポートしてもらいながら大会に参加しました。

開会式には、山形県最上総合支庁の泉 洋之支庁長、最上町の高橋 重美町長、舟形町の森 富広町長、小国川漁業協同組合の高橋 光明代表理事組合長、伊藤 重成山形県議会議員から出席いただきました。参加者を代表して新庄南高等学校2年生の小林 駿さん（最上町）が選手宣誓を行い、「鮎釣りを通して最上小国川の地域の魅力を感じながら、競技することを誓います」と力強く述べました。



フィッシングチャッカ屋(新庄市)井上 英治様から競技方法や鮎釣りの手法について説明をしていただいた後、各々釣り場へ向かい舟形町の鏡副町長の協議開始の合図とともに友釣りを開始しました。競技は、快晴の下3時間行われ、参加者は鮎釣りに熱中しました。結果は接戦となり以下の方々が入賞しました。



1 菊池涼雅さん (新庄北高等学校 1年)  
荒井壮旭さん ( " )

2 佐藤翔吾さん (新庄北高等学校 1年)  
安達惺さん ( " )

3 庄司光太郎さん (新庄北高等学校 3年)



入賞者には最上、舟形両町の特産品である米やマッシュルームの詰め合わせ、クーラーボックス等の副賞を贈呈しました。昼食は最上小国川流域の味覚として8月に最上町にオープンしたフランス料理店トトマビさん特製の最上町、舟形町の特産品を使ったオープンサンドと冷製スープをいただきました。また、参加者全員には、参加賞として帽子やTシャツなど釣り具メーカーからの協賛の品を配りました。(協賛いただいた方々：フィッシングチャッカ屋様、株式会社オーナーぱり様、株式会社がまかつ様、株式会社シマノ様)

参加者からは、「鮎釣りを通して最上の自然の豊かさに改めて気づくことができた」、「今まで知らなかった地元の楽しみ方を知れた」、「釣りの難しさと地域の人との関わり方を学んだ」、「スマホなどが普及している今、自然と触れ合うことの大切さを学ぶことができた」といった声がありました。

大会を通じ、高校生は釣り指導を行った大人たちと鮎釣りや地元のことを話し、最上小国川の豊かな自然の魅力と鮎釣り文化を体験してもらうことで、ふるさと最上への愛着を一層深めてもらうことができたと思います。



## 第7回 最上小国川写真コンテスト作品募集中

「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに写真コンテストを開催しています。

最上小国川の魅力(最上小国川の風景、体験や思い出など)を撮影した作品を募集しています。

【応募締切】

令和4年11月30日(水)まで  
(当日消印有効)

【入賞】

賞金のほか、最上小国川流域の特産物をプレゼント

※詳しくは、右のQRコードからご確認ください。



第6回優秀賞  
【大漁を狙う】



### 【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構(山形県最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室内)：0233-29-1240

※ 最上小国川清流未来振興機構のHPでも、流域での地域づくり活動・観光情報などを掲載していますので、是非ご覧ください。(http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/)